

小磯良平

ブックワーク・アラカルト

2023年9月28日(木)～11月21日(火)

当館の収蔵作品を紹介する小さな企画展「トピック展」。今回は、昭和を代表する洋画家、小磯良平の本にまつわる作品をご紹介します。小磯は書籍の装幀や雑誌の表紙絵、小説の挿絵などを生涯にわたって手掛けたことで知られます。優れたデッサン力をもとにした気品あふれる作風は、本の仕事においてもその魅力を大いに発揮し、多くの人々に支持されました。本展では、雑誌の表紙原画や小磯が装幀を手掛けた書籍のほか、当館初公開となる小説挿絵の下絵をご紹介します。読書の秋、本の世界を華やかに彩った小磯のブックワークをお楽しみください。

出品リスト（すべて小磯良平 作）

作品名	技法、材質	制作年
少女像	油彩、キャンバス	1949 (昭和24)年
『五木哀歌』（小山いと子・著）扉絵下絵	インク、紙	1956 (昭和31)年
『五木哀歌』（小山いと子・著）挿絵下絵①	インク、紙	1956 (昭和31)年
『五木哀歌』（小山いと子・著）挿絵下絵②	インク、水彩、紙	1956 (昭和31)年
『五木哀歌』（小山いと子・著）挿絵下絵③	インク、紙	1956 (昭和31)年
『五木哀歌』（小山いと子・著）挿絵下絵④	インク、紙	1956 (昭和31)年
『五木哀歌』（小山いと子・著）挿絵下絵⑤	インク、紙	1956 (昭和31)年
『零の記』（丹羽文雄・著）挿絵下絵①	インク、紙	1956 (昭和31)年
『零の記』（丹羽文雄・著）挿絵下絵②	インク、紙	1956 (昭和31)年
『零の記』（丹羽文雄・著）挿絵下絵③	インク、紙	1956 (昭和31)年

参考出品

『愛と智と』（里見弴・著）

『噴水』（永井達男・著）

『積木の箱』（三浦綾子・著）

『週刊朝日別冊』通巻第15号